

NO

氏名

デザイン画

コンセプトボード

1

野村 寿希斗



## 「あなたらしく。」

この作品は、LGBTQの象徴であるレインボーカラーを大きく描き、「あなたらしく」という言葉を添えることで、“自分らしさを大切にしたい”というメッセージを表現した作品です。

虹が空へ伸びていくような構図には、一人ひとりの個性や価値観が自由につながっていくイメージを込めました。

また、明るい背景色と手書きの文字によって、優しきや親しみやすさを表現し、誰もが自分らしく生きられる社会への願いをテーマにしています。

2

本告寿紗



## 「TOGETHER」

みんながともに暮らす家 TOGETHER。私たちが暮らしている地球から発想を得て小さな地球をイメージしながら制作しました。いろんな形の生き物がいたり、あまりみない配色の家にしたのは「固定概念にとらわれない」という意味が込められています。

また、作品の中にある英文は

"If we live together, it will be enjoyable future"で、

「一緒に暮らせば、もっと楽しい未来になるでしょう」という意味です。

3

梶原千遥



## 「貴方次第」

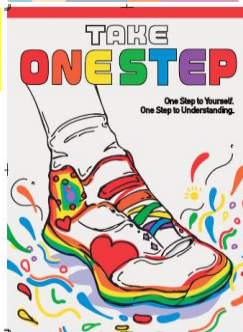
誰だって様々な光もとい可能性を握める素質を持っている、という事に気がついて欲しくてこのポスターデザインにしました。可能性は待つものではなく、握むものです。そこに無限の光があったとしても決断するのは自分だと考えています。

私が提案するテーマは、ジェンダーに悩む人以外にも当てはまって考えることが出来るはずです。「可能性は誰でも握める」はポスターにも記入したテキストですが、この「誰」は本当に誰でもなので他人事ではなく自分事として捉えていただきたいです。

### 【企画賞】

4

山崎乃絵美



## 「TAKE ONE STEP」

今回の展示会のお話を聞いた際、LGBTQ当事者の方だけではなく、無関心に思っている人、モヤッとしている人などへのきっかけづくりでもあるという点が印象に残りました。

このポスターは、「一歩踏み出す」をテーマに、当事者の方は声をあげるための一歩を、当事者以外の方は知るための一歩を踏み出して欲しいというメッセージをこめて制作しました。レインボーカラーの靴で踏み出し、「TAKE ONE STEP」というキャッチコピーとポップさで目をひくようなデザインを目指し、幅広い世代の理解への後押しができるよう意識しました。

5

月森美蘭



## 「繋がり」

真ん中の絵は人とシーソーを表しており、性別関係なく人をそれぞれ違う図形にして『ありのままのあなたでいてほしい。誰もが平等に幸せに暮らしてほしい』という意味と想いを込めて作りました。そして古賀市の取組からは、一人一人に手を差し伸べる人と人との『繋がり』を感じました。なので作品に描いた人は手を繋いでいる、手を取り合っているという様子を表現しました。右上の文字は、古賀市が取り組む活動への想いの一部を反映させており、古賀市の想いも共にこのポスターで伝わるようにデザインしました。

6 樋口美玲



## 「つなぐ」

子供の頃や、大人になった今も遊ぶ時だけは性別も年齢も関係ない。そんな考えを昔ながらの遊び「けん玉」で表現してみました。この考えが浮かんだきっかけとしては、毎年行われている「紅白歌合戦」でのけん玉チャレンジから着想をえました。丸い玉と軸を紐で繋いで作られたけん玉も全く違うものでも繋がり、互いに影響し合えるということをポスターに落とし込みました。

7 吉田碧羽.



## 「NO LABEL, JUST ME !!」

「NO LABEL, JUST ME !!」には、性別や書き、周囲から与えられたイメージに縛られるのではなく、「ひとりの人間そのもの」を見てほしいという想いを込めました。私たちは無意識のうちに相手へラベルを貼り、その枠組みの中で理解しようとしてしまうことがあります。しかし本当に大切なのは、性別やカテゴリーではなく、その人自身の個性や感情、生き方であると考えました。ポスター中央の瓶の中には、透明なセロハンを使用し、多様性を表現しています。セロハンは重なり合うことでさまざまな色や光を生み出し、それぞれ異なる存在でありながらも、互いを受け入れ合うことで美しく調和していく姿を象徴しています。さらに、虹色で表現したサブキャッチコピーには、LGBTQの象徴であるレインボーカラーを取り入れ、多様な価値観や個性を肯定する意味を込めています。サブキャッチコピーの「ありのまま生きよう」という言葉には、周囲の価値観や固定概念に合わせるのではなく、自分自身を否定せずに生きてほしいという想いを込めました。色が一色では成り立たないように、さまざまな個性が共存することで、美しく調和した世界が生まれることを表現しています。「NO LABEL, JUST ME !!」を通して、ラベルにとらわれることなく、一人ひとりの「その人らしさ」を認め合える社会への想いを表現しました。

8 山口留奈



## 「Welcomes Everyone」

性の多様性を表す6色のレインボーカラーを取り入れたいと考え、レインボーカラーと言えば「虹」かなと思い、そこから連想した傘をモチーフに制作しました。傘は濡れない場所を作ってくれる道具で、偏見に苦しむ方々の居場所を表現しました。

9 山下優太



## 「CHILD」

次世代に向けて段階的に、学びにつに重ねていくという古賀市の取り組みに注目して、積み重ねる＝積み木というように考えました。様々な知識など子供達が積み重ねていき、LGBTQのような多様性にも寛容に、そして明るい未来を、明るい古賀市を作っていくって欲しいという気持ちで制作いたしました。

10 時枝心美



## 「Your Colors」

この作品は、自分らしさを出せないでいる人に「あなたの個性は隠さなくていい」という思いを込めて制作しました。黒い部分は周りの目や不安な気持ちを表していて、紙が破れた先に見える虹色は一人ひとりの個性、多様性を表しました。「Your Colors Shine Bright」という言葉には「あなたの色は明るく輝いている」という意味が込められています。少しでも多くの人に自分らしさを隠さなくて大切にして欲しいという想いが伝わることを願っています。

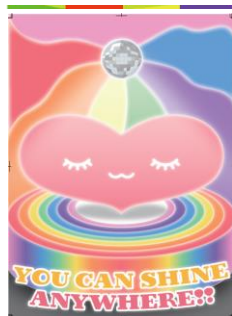
11 渡邊果歩



## 「違いは間違いじゃない」

よく言う普通って何でしょうか？みんながって、みんないいという言葉があります。多様性の中での問題は人の中に"違い"を見つけてそれを"間違い"としてしまうことではないかと考えて、それを視覚的に理解してもらえようポップに仕上げました。

12 仲宗根憂音



## 「あなたはどこでも輝ける！」

こちらの作品はどんな人でも輝ける場所があるということを伝えたい想いで制作しました。輝ける場所の一つとして、ダンスホールをイメージにデザインし、ステージの上に立つのは人の気持ちや愛情を表現するときに使われるハートを適用しました。全体的にふわふわ暖かい雰囲気として、LGBTQのメインカラーである虹色をたくさん使用した作品にしました。

13 諸藤未来



## 「それぞれのカタチ」

周囲と違うことで視線や孤独を感じることもある。けれど、その違いがあるからこそ出会える存在や仲間がいる。同じ色、同じ形じゃなくてもそれぞれの居場所を見つけることができる。「違いは孤独ではなく、つながりのきっかけになる」というメッセージを込めました！

14 永仮聖奈



## 「ちがって、あたりまえ。」

自然界では、同性同士で支え合いながら生活している動物たちがたくさんいます。それは、動物たちにとって特別なことではなく自然なこととして受け入れられています。このポスターでは、そんな動物たちの姿を通して「ちがいを偏見なく受け入れ、お互いを自然に尊重しあえる社会になってほしい」という思いをデザインしました。

15 塚本さくら



## 「形それぞれ人それぞれ」

このポスターの図形は全て違う形です。これらの図形と同じように、人の身体や性格はそれぞれ違い、そしてそれぞれが違う魅力を持っています。どのような人も自分の形を変えず、ありのままの自分で過ごしていける社会になるようにという願いを込めています。

16 龍隆史



## 「古賀市PRIDE」

古賀市の豊かな自然と、LGBTQに対する熱い思いを組み合わせでデザインしました。背景には美しい古賀海岸の浜辺を描き、市の花であるコスモスを一輪だけ咲かせています。この一輪のコスモスには、みんなの中の「一人ひとり」を大切にしたいという意味を込めました。そして、古賀市のプライド月間の取り組みからヒントを得て、レインボーフラッグに市章を重ねました。この旗が砂浜に力強く立っている姿を通して、市全体でみんなを応援していくという強い気持ちを表現しました。

17 松本暖



## 「モアハート」

多様性（ダイバーシティ）という言葉をもっと身近に、もっとあたたかく感じてほしいという想いから、このポスターを制作しました。描かれているのは無数のカラフルなハートたちです。多様性という言葉をストックに伝えたいと思い、このようなビジュアルになりました。「みんな違って、みんな良い」互いの個性をリスペクトし寄り添い合うことで温かいハートの輪が広がっていく。そんな、古賀市が目指す「優しくつながる未来」をこのビジュアルに託しました。



18 松本航希



## 「包摂」

今回の作品では、多様性という言葉を六色のインクで現し、六色のインクを一ヶ所に垂らし一つにまとめ混ざる事で「LGBTQ+」を表現しています。白色のラインは、亀裂を現しており、今までの異性を愛するのが当たり前という前提を取り壊す事をイメージしております。

19 高橋悠



## 「あこがれのせんろ」

「あこがれのせんろ」は、「こう進めたらいいな」「こんな自分でいたいな」という、一人ひとりの憧れや思いを“自分らしく進めるルール”として表現した作品です。タイトルの「あこがれ」には「こが」の文字を取り入れ、古賀市の取り組みとの繋がりも表現しました。「せんろ」としたのは、一人ひとりが違う道を進みながらも、お互いを尊重し、支え合っている世界を表現するためです。汽車を支える線は、それぞれ違う考え方や個性、自分らしい生き方を6色で表し、煙突からあふれるモチーフには、一人ひとりの“好き、や思い”を込めています。みんな違う思いを持ちながらも、同じ汽車に乗ってつながっていることを表現しました。

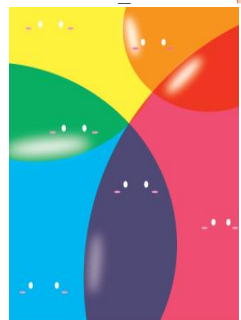
20 小柳春乃



## 「ふれてみて」

人や取り組みの表面上だけをみて判断するのではなく、実際に触れてみないとその本質はわからないということを表現するために、シャボン玉に触れて外を割り中を知るという描写をしました。知らないことにも偏見を持たず、少しでも触れて知っていくことが大事だと伝えれば嬉しいです。

21 大久保羽菜



## 「形は同じ」

人は十人十色で色は違えども、暮らしている地球では形は同じなんだと。身長や、性格や、趣味や、好きな食べ物、好きな動物、好きな色。好きなものをそれぞれたくさん。人みんながそれぞれ良い違いを持っている。だけど、「人」という形は一緒。その意味を込めて、丸の形に統一してシンプルで可愛いデザインを手掛けました。十人十色で人は交わり助け合ったり、一緒に楽しんだりしたら違う色が生まれてくる。いろんな色があり、一人一人それぞれの色を持ち個性というものがある。一人を大切に、みんなと違う色を育む、でも形は一緒お互いを理解し、個々の良い色のままで共に。そんな願いを込めてデザインをしました。

22 高橋詩音



## 「みんなちがう色鉛筆」

この作品のモチーフは色鉛筆です。色鉛筆の色はレインボーフラッグカラーの6色を使用しました。「みんなちがういろ みんなちがうカタチ」というキャッチコピーにした理由は、色鉛筆の“いろ”や芯の“カタチ”、長さが違ってもその“ちがいが”は一人一人の“個性”だということを表しています。

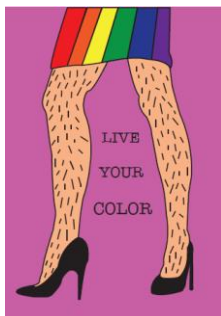
23 浦塚 蘭加



## 「ひらけ! じぶん」

とびだす絵本をモチーフにし、ひとりひとりの「好き」を通して自分らしさや個性が自由に広がっていく様子を表現した。本のページをひらくという動きと自分らしさをひらく意味を重ねて自分だけの色を大切にしたいと想いを込めた。ポスターやテキストはすべてちぎり絵で制作し、紙のちぎれ具合や重なり質感により絵本のような温かい雰囲気を出した。全体的な色味も淡く設定することで子供にも親しみやすく、やさしく伝わるようなデザインを目指した。

24 南 日菜



## 「私だけの、色」

コンセプトは「自分らしく、自分の色で生きる。」スカートは虹色で多様性を表現し、ヒールと体毛を組み合わせることで、性別の固定概念にとらわれない自由を表現しました。LIVE YOUR COLORには、自分の色を大切に、自分らしく生きてほしいという意味を込めました。

### 【来場者賞】

25 仙場 美羽



## 「自分らしく」

「誰かの枠にとらわれずそれぞれのアイデンティティを大事にし、守っていく」をコンセプトに制作しました。アナログ感のある素朴なタッチと優しい色合いで人のありのままの美しさを表現しました。キャッチコピーも手書きで温かみのある雰囲気にし、背景は「枠にとらわれない」を表現するために白で「どんな色にもなれる」という思いをこめました。

26 佐々野 陽彩



## 「ぎゅっと。」

誰もが自分らしく暮らせるまちへの願いを込めて制作しました。レインボーカラーは多様性を表し、抱きしめ合う姿には「認め合うこと」や「安心できる居場所」という意味を込めています。やさしい雰囲気の色使いで、あたたかさを感じられるデザインを目指しました。

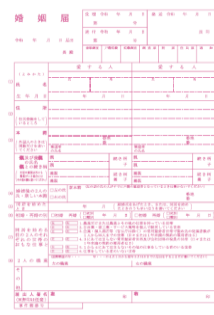
27 佐藤 芙美



## 「自分らしく、いられる世界へ」

7匹の動物たちをレインボーで表現することで、「自分らしさ」「個性の尊重」を表現しました。あえて真正面にせず背中をむけているのは、本当の自分を知っているのは自分だけであって、自分の気持ちを大切に持ってほしくてこのようにしました。影がグラデーションで伸びてるのは、一人一人の存在や歩む道を肯定する意味をこめています。

28 小山 千穂美



## 「新婚姻届」

普通の婚姻届とは違います。性別がありません。夫、妻、男、女、母、父、夫婦という言葉が存在しません。性別に固定されているからです。また父、母はこれから先、親が2人とも母や父だった場合を考えています。夫婦という言葉も漢字自体が昔の男女前提の言葉だからです。書く欄を愛する人と統一したので(4)(7)(8)は左右の書く人と失礼かもしれませんがわかるように工夫しました。

29 荒島樺音



## 「I'll protect my colors.」

LGBTQを象徴するレインボーカラーをまとった小さなヒーローをモチーフに作成しました。周囲と違うことを隠したり否定するのではなく、「自分の色」を大切にしながら生きる姿を表現しました。また、小さな女の子をヒーローとして描くことで、年齢や性別に関係なく、誰もが自分らしく生きる力を持っていることを表現しました。キャッチコピーの“I'll protect my colors.”には、「私は自分の色を守る」という意味を込めています。

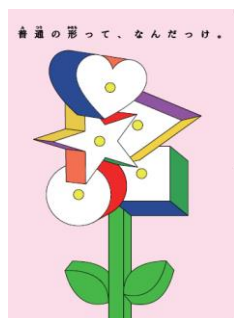
30 江口 凛



## 「覗いてみたら同じ世界」

一人ひとり形が色、個性は違う。しかし、違いがあっても同じ世界で支え合っている。  
この作品では、異なる形や色をモチーフを用いて多様性を表現しました。また、虫眼鏡には「違いを見つける」のではなく、「相手を知り、理解しようとする視点」という意味を込めました。違い否定するのではなく、認め合いながら共に生きる世界のイメージしました。

31 櫻木陽琉



## 「型破りの花」

普通とは何かをテーマに制作しました。  
異なる色や図形を組み合わせ、一つの花として表現することで、多様な個性や価値観が共存する姿を表しています。図形を立体にしたのは、表だけの姿ではなく、さまざまな方向や面が存在することを表現するためです。  
人も同じように、一つの見え方だけではなく、それぞれ異なる個性や価値観、内面を持っています。  
普通の形や色に当てはめるのではなく、多面的な自分らしさや、それぞれの違いが共存する美しさを表現しました。

32 甲斐 愛音



## 「あなたの色で、過ごせる街。」

古賀市に暮らす人たち一人ひとりを「色」で表現。  
違う色が重なり合い、否定せず共に存在することで、古賀市という街の景色になることを表現しました。

33 井手平七海



## 「自分らしさに火を灯す」

一本のマッチ棒から広がるカラフルな炎で、「自分らしさを灯す瞬間」を表現しました。キャッチコピーで入れている「LIGHT YOUR OWN COLOR」には周りに合わせるのではなく自分自身の色を輝かせようと意味を込めました。

34 鈴木菜桜



## 「カタチ」

コンセプトはシャボン玉です。色々な形になれると言うのと、いろんな色に見えるというところからシャボン玉をテーマに作品を作りました。  
星はLGBTQそれぞれの希望、自由と言う意味で全て形や色、模様が異なり多様性を表現しました。

35 曾根琴葉



## 「はながる」

それぞれが自分らしい花を咲かせ繋がるというテーマで制作しました。タイトルはテーマの「花」と「繋がる」を組み合わせたものです。花の色は違ってもしっかりと手を取り合い、認め合いながら輪になる姿を表現し花が人にも見えるようにデザインしました。

花の周りには波紋のようなものを広げ、真ん中の輪からこの思いがもっと広がってほしいという願いを込めました。

36 宇都宮玲佳



## 「未来の循環」

小さな希望でも、誰かの手があれば前へ進める。

希望は一人で生まれるものでなく、人との繋がりの中で循環していく。

手と円形構図を用いて、未来へ続く希望の流れを表現

37 甲斐 斎



## 「自分だけの輝き」

コンセプトは、傘を顔に見立て輝きのビジュアルを目にして傘の持つ部分を鼻に見えるように制作しました。自分だけの個性を発揮できるように目をキラキラさせました。

38 城本銀次郎



## 「I AM ME」

人は見た目だけでは決めつけられない。

この作品では、外見の違和感やアンバランスさをあえて強調することで、「他人からどう見られるか」ではなく、「自分がどう感じるか」に焦点を当てた。

カラフルな表現は、多様性や感情の自由を象徴している。

39 末廣 泰河



## 「磨」

スクラッチアートをイメージして作りました。プライドフラッグやトランスジェンダー・シンボルを使っています。

Born this way. (生まれつきこうだ) という意味の英語のフレーズを使いました。

旗が立っている地面は地球をイメージしていて模様はみんなの個性を表しています。

スクラッチアートは小さな子供でもやったことや知ってる子が多いと思うスクラッチアート風になりました。